

平成23年度  
(第2四半期)

## 広貫堂グループ IR情報

### 株式会社 広貫堂

#### ○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面) 売上面においては前年同期比99.8%、計画比97.9%の実績に終わりました。収益面では呉羽工場の償却負担が前年対比約2億5000万円の増加及び、前年対比で仕掛棚卸高が原価増加要因として加わり製品製造原価では約4億1000万円の増加となりました。一般管理費は前年比微減の実績ではありますが、経常損益はマイナス2億1200万円の実績となりました。

(事業運営面) 医薬品事業(受託,CMO)・OTC事業・グローバル事業・ブランド事業の本体売上4部門に関して上期の実績は十分とは言えませんが、今年度重点戦略として強力に事業展開を図っています。各部門の具体化した施策、戦術を実行し総力を挙げて目標達成に向け推進しています。

#### ○ 課題への取組み

中期経営計画を見据えて、継続的にエッセンを中心とした新たな口座獲得・顧客づくりの推進を図るとともに、生産設備の稼働率向上に寄与する売上による各流通での新製品の早期投入を行います。上期実績を踏まえ下期での更なるグループ全社・全員参画によるコスト削減策などを実施、早期黒字回復に取り組んでまいります。

#### ○ トピックス、適時情報

1. 広貫堂やくぜんシリーズとしてやくぜん「芳醇鍋」スープ、富山ブラックカレー、国産15穀米+やくぜんをそれぞれ9月に新発売しました。
2. 広貫堂グループアジア展開の拠点として9月1日に広貫堂 코리아 およびタイ広貫堂を設立しました。
3. 6月29日～7月1日開催のインターフェックスジャパンへ弊社ブースを昨年に続き出展しました。

#### ○ 業績の概況 (広貫堂・単体) (第2四半期、平成23年4月～9月)

(千円)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
売上高	5,090,422	5,357,832	5,473,148	5,464,802
経常利益	300,048	90,337	-1,967	-212,498

### 広貫堂グループ

#### ○ 連結経営成績に関する定性的情報

売上面においては前年同期比で100.6%となり、今期年間計画に対しては47.5%の進捗となりました。しかしながら売上原価は前年比2億1800万円の増加となった結果、経常損益は前年比2億1000万円の減少でマイナス1億7100万円となりました。第一四半期と同様、日本薬剤でのドラッグストアボランティア流通売上が全体をカバーしている状況となっており、本体及び他グループ各社は損益黒字化を目指すべく滑川・呉羽工場での安定稼働、新規自社製造製品の各流通市場投下等、広貫堂グループの総力を挙げて早期の販売構築を実現してまいります。又、併せて原価圧縮・販売管理費等のコスト削減についてもグループ全体として取り組んでまいります。

#### ○ 業績の概況 (広貫堂グループ・連結) (第2四半期、平成23年4月～9月)

(千円)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
売上高	6,528,121	6,540,918	6,804,490	6,851,668
経常利益	388,895	207,325	39,306	-171,599

平成23年度  
(第2四半期)

## 広貫堂グループ IR情報

グループ各社

### 薬都広貫堂 株式会社

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

第二四半期まで新製品2品目、リニューアル製品2品目を導入しましたが、目標比92.8%、年同期比95.7%、経常利益は目標比252.4%、前年同期比142.0%の減収増益で第二四半期を終えました。

(事業運営面)

既存製品はもとより、新発売製品のエリア別販売戦略を基本とする営業展開の徹底と、配置市場に求められる製品を開発、発売していきます。なお、第三四半期では医薬品3品目、健康食品2品目の発売を予定しております。

○ トピックス、適時情報

第二四半期では次の製品を発売しました。

第2類医薬品 : 葛根湯「エキス」顆粒2

清涼飲料水 : 美肌工房EX

化粧品 : うつくし堂クリームRich、 オールインワンゲルクリーム

○ 業績の概況 (第2四半期、平成23年4月～9月)

(千円)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
売上高	1,955,399	1,802,772	1,784,741	1,707,694
経常利益	12,618	23,026	8,618	12,238

### 日本薬剤 株式会社

○ 事業の概況 (事業運営、業績等の概況)

(財務面)

売上高は、100mLドリンクなどの販売増が寄与し、前年同期比111.0%の23億円となりました。また経常利益は前年同期比123.1%の8751万円となりました。

(事業運営面)

メディカルサポート事業部およびヘルスケア事業部では市場ニーズに応えた製品の開発を進めております。年間を通じて順次製品を上市しています。

○ トピックス、適時情報

新発売(4～9月)

かぜ薬 2アイテム

止瀉薬 1アイテム

胃腸薬 3アイテム

○ 業績の概況 (第2四半期、平成23年4月～9月)

(千円)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
売上高	1,559,926	1,794,830	2,114,601	2,347,213
経常利益	45,627	54,606	71,110	87,513

平成23年度  
(第2四半期)

## 広貫堂グループ IR情報

グループ各社

### 廣貫堂産業 株式会社

#### ○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面) 売上高は6647万円(前年同期比1273万円の減)、売上総利益は4428万円となりました。また販管費は3943万円(前年同期比896万円の減)となりました。その結果、経常利益は733万円(前年同期比474万円の増)となりました。

(事業運営面) 「懸場物語Jr」を2法人、「懸場物語プロ」を1法人に納品を行い、問題なく運用され顧客満足を得ています。下期には「懸場物語Jr」を1法人、「懸場物語プロ」を1法人に納品予定をしています。また、販社様からは商品説明の訪問依頼等が多数あり、更なる価値と満足のいただけるシステムとなるように努めています。

#### ○ トピックス、適時情報

1. 今話題のipadを用いた配置販売システムの開発について検討中です。  
精算業務が精算書、ハンディ、ipadのいずれを用いても円滑な運用が可能なシステムを目指します。
2. 「懸場物語」シリーズ導入により蓄積された「顧客情報」、「商品販売情報」、「担当実績情報」、「在庫情報」などのデータをもとに、ipadを使用した顧客価値創造システムを検討中であります。
3. 社業の発展と製品品質向上と人材補強のために9月に社員を中途採用いたしました。  
若くて能力とやる気もあり、今後を期待すると共にお客様にも愛されることと思います。
4. 専修学校に導入されましたeラーニングシステムが順調に運用され51名の学生が学んでいます。

#### ○ 業績の概況 (第2四半期、平成23年4月～9月)

(千円)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
売上高	110,901	50,041	79,207	66,475
経常利益	10,068	-3,365	2,594	7,335

### 広貫堂メディアース 株式会社

#### ○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

売上につきましては、新規商品の開発の遅れや、ペット飲料の原料の不足、値上がりがあり、前年同期に比べ大きく減収となりました。経常利益につきましても、売上の低迷により損失となりました。

(事業運営面)

今年度、上半期において「和漢素材」をプラスした「雑穀米」、「鍋の素」や「富山ブラックカレー」、「アルミ缶ドリンク」等、企画した商品を下期に向けて拡売を行います。

#### ○ トピックス、適時情報

1. やくぜん「芳醇」鍋スープ、国産15穀米+やくぜん、富山ブラックカレーを9月に販売いたしました。
2. 「サンリキソダッシュ」(指定医薬品部外品)をCVS(CoCoストアー)に導入決定。

#### ○ 業績の概況 (第2四半期、平成23年4月～9月)

(千円)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
売上高	269,104	172,708	178,074	132,966
経常利益	421	-36,563	-1,741	-12,323

平成23年度  
(第2四半期)

## 広貫堂グループ IR情報

グループ各社

### 広貫堂薬品販売 株式会社

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面) 第二四半期までの累計(4月~9月)販売面では22年度9億6203万円に対し23年度は9億6410万円となり前年同期比100.2%、利益面では前年同期-276万円に対し-2989万円で推移しました。

(事業運営面)

1. 仙台営業所においては、仮設住宅を中心とした新懸け設置件数が9月末現在約9,400軒に設置完了しました。また、既存の得意先の確定作業は約5000軒が終了し、引上げ不明軒数が552軒となっています。年内には確定作業を終了する予定で進めております。
2. オフィス事業の冷蔵庫設置台数は9月末で1,567台(富山県内)

○ トピックス、適時情報

1. 仙台営業所にて6月より6名、8月より3名を採用し新懸けを実施、9月より内2名にて起こし作業を開始
2. 9月30日第4回取締役会に於いて代表取締役社長に我妻敏幸が選任しました。
3. 9月30日に臨時株主総会が開催され、監査役の変更がございました。

監査役の変更は下記の通りです。

9月30日 広明 滋雄 辞任  
10月1日 能登 恒雄 就任

○ 業績の概況 (第2四半期、平成23年4月~9月)

(千円)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
売上高	897,376	913,083	962,033	964,106
経常利益	2,890	11,902	-2,766	-29,889

### トキワ広貫堂 株式会社

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

弊社の上半期業績は、売上高1億4526万円、前年同期比82.2%、経常利益マイナス2437万円となり、第1四半期同様、本年度より卸部が抜けた影響が出ています。

(事業運営面)

上半期の最優先課題であります資産管理(1冊台帳管理、不廻り消化、売掛金圧縮)の改善に全力で取り組んでおります。

○ トピックス、適時情報

1. 9月30日に臨時株主総会が開催され、監査役の交代がありました。

監査役の交代は下記の通りです。

9月30日 広明 滋雄 辞任  
10月1日 能登 恒雄 就任

○ 業績の概況 (第2四半期、平成23年4月~9月)

(千円)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
売上高	175,749	206,911	176,568	145,269
経常利益	-16,909	12,109	-9,117	-24,376